



福鍼会だより

発行 / (一社) 福島県鍼灸師会

2015年
6月6日

No. 119

第64回全日本鍼灸学会学術大会ふくしま大会が開催されました！

2015年5月22日(金)～24日(日)の3日間、郡山市・ビッグパレットふくしまに於いて、第64回全日本鍼灸学会学術大会ふくしま大会が開催されました。4年前、東日本大震災、原子力発電所事故によって被災された方々の避難所として使用されていた場所です。

『今、鍼灸の復興を ～拓け未来、育め希望～』を大会テーマとし、鍼灸医療の復興と未来を考える3日間となりました。



ビッグパレットふくしま内の8箇所の会場に於いて30を超える特別演題(講演・シンポジウム・セミナー等)、279の一般演題(一般口演・ポスター発表・学生ポスター発表)が3日間で発表されました。

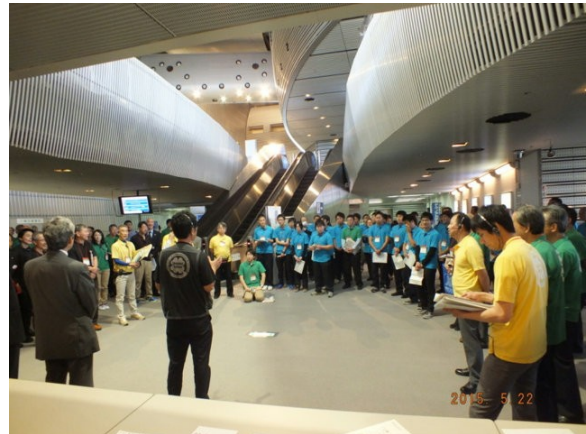
大会会頭である、福島県立医科大学会津医療センター 漢方医学講座 教授 三瀨忠道先生のご講演「鍼灸の復興を目指して」を筆頭に、実行委員長・福島県鍼灸師会会長 中沢良平先生のご講演「プライマリ・ケアと鍼灸」、難病と不妊にフォーカスしたシンポジウム、鍼灸の実技セッション、痛みとしびれに対するセミナー、介護予防と鍼灸治療に関するパネルディスカッション等、魅力的な演題が続きます。その中でも「災害医療」「災害に備える鍼灸(災害鍼灸)」というカテゴリーの演題は、震災を経験し、復興途中の我々にとっても身近で大切な内容でありました。

北海道から沖縄まで全国各地からお越しになった臨床家はおおよそ1800人。大勢の先生方が熱心に学び、福島に触れ、そして充実した3日間を過ごされました。



2日目の夜は郡山ビューホテルアネックスにて懇親会が開催されました。オープニングには郡山市立郡山第五中学校混声合唱団による合唱が披露され、日本一の歌声に会場にいた参加者の2人に1人は涙したそうです。ジャズシンガー本田みどりさん（いわき市・橋本先生の奥様）の艶のあるステージも大変好評でした。料理よし、酒よし、スイーツよし、演出よしと大満足の懇親会となりました。

今大会は大会役員・実行委員だけではなく、大勢の鍼灸師、学生のサポートもあって運営が進んでいきました。「実行委員は黒」「学生は青」のように色分けされたポロシャツを着て、それぞれの職務を全うしました。三瀧会頭の『おもてなしの心で』という言葉が胸にスタッフの笑顔溢れる素晴らしい大会になったのではないのでしょうか。



全日程を終え、実行委員の先生方と最後に記念撮影（24日（日）16：30頃）。2013年夏の終わりから約2年間、この3日間のために準備をしてこられた先生方、本当にお疲れ様でした。また、大会当日に支えてくださった先生方・学生さんにも感謝しております。全国から参加された臨床家の先生方はフクシマで“本当の空”を見たことでしょうか！